

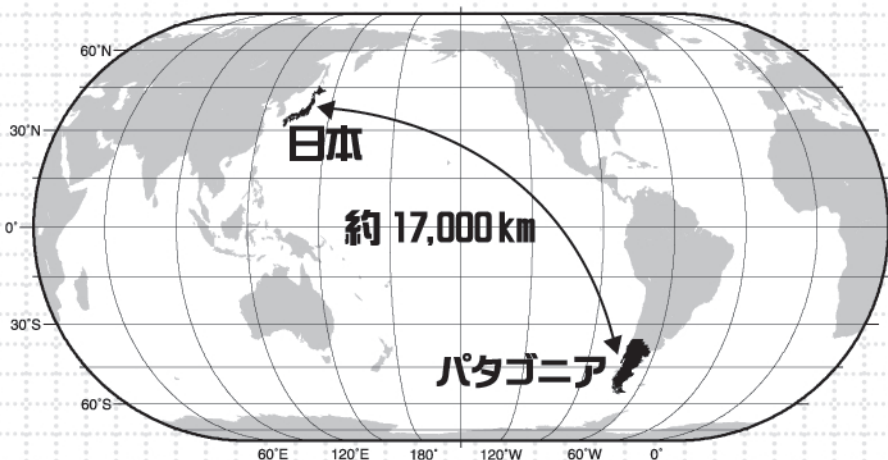
アンデスを越えて

南米パタゴニアの火山地質調査から

南米大陸のアンデス山脈は、太平洋をぐるりと取り囲む環太平洋火山帯のひとつです。日本列島と同じように、太平洋の海のプレートが南米大陸の下に沈み込むことによってたくさんの火山ができています。火山はアンデス山脈を越えて、パタゴニアの大平原にもあります。この企画展では、南米大陸南部のアンデス山脈からパタゴニア大平原にみられる火山の姿と、その周辺の自然を紹介します。

✓ パタゴニアってどこだろう？

南米大陸の南部、南緯 40 度よりも南の地域で、アルゼンチンとチリの両国にまたがります。パタゴニアという名は、世界一周の航海をしたマゼランがつけたと言われています。



✓ なぜパタゴニアへ



セロネバド火山
パタゴニアのなかの大きな成層火山

アンデス山脈の下には、年代の若い海洋プレートや中央海嶺が沈み込んでいます。その沈み込みによりできた、アンデスとパタゴニアの火山を調べるために行きました。

✓ アンデスを越えて



クリストレドントール峠
チリからアンデスを越える

安山岩の英名であるアンデサイトという名前は、アンデス山脈に由来します。アンデスとパタゴニアの火山を調べるために、アンデス山脈を何度も越えました。

✓ アンデスの火山



ビジャリカ火山

アンデス山脈にはたくさんの火山があり、現在でも噴火をしています。富士山のような形をした成層火山が、いくつもあります。

✓ パタゴニアの火山



玄武岩台地(カンケル台地)

何キロも続く平らな溶岩台地が、いくつもあります。台地の頂上は、驚くほど平らでした。

✓ 氷河地帯の火山

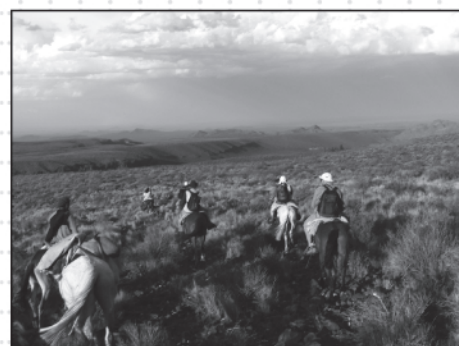


チリ警察のヘリコプターによる調査

アンデス山脈最南端の氷河地帯にも火山があります。ヘリコプターを使って、氷河の上の火山を調べました。

✓ 調査経過

- 2000 年「アンデス南部とパタゴニアの火山予察調査」
- 2001 年 第 1 次「パタゴニア地域の火山調査」
「タイタオ半島のオフィオライト地質調査」
- 2002 年 第 2 次「パタゴニア地域の火山調査」
- 2007 年 第 3 次「パタゴニア地域の火山調査」
- 2009 年「チリ沖三重点地域の海底調査」(海洋調査船みらい航海)
- 2010 年 第 4 次「パタゴニア地域の火山調査」
- 2011 年 第 5 次「パタゴニア地域の火山調査」
- 2013 年「アンデス南部火山帯の調査」



✓ こぼれ話など



お世話になった人々(トロンコソファミリー)

2000 年からはじまった南米パタゴニアの火山調査では、学術的に興味深いこともたくさんありましたが、調査でお世話になった人たち、地元の食べ物、思わぬハプニング、野外であった動物や植物など、こぼれ話がたくさんあります。